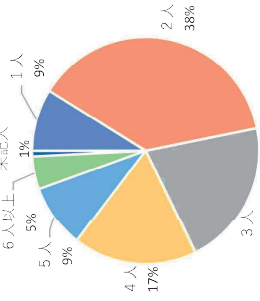


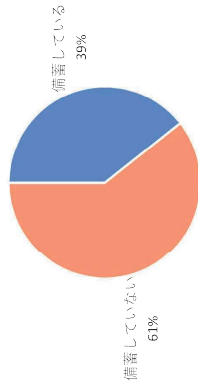
# 飲料水の備蓄に関するアンケート調査結果

【アンケート対象：398名、回収：363名、回収率：91%】

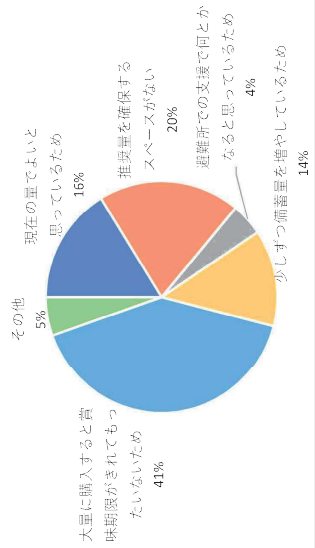
問1. 現在の家族構成について伺います。



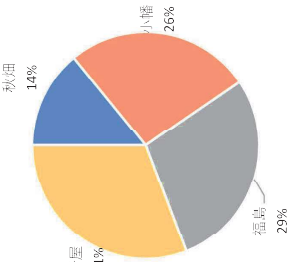
問4. 地震や台風などの大規模災害に備え、飲料水を備蓄していますか？



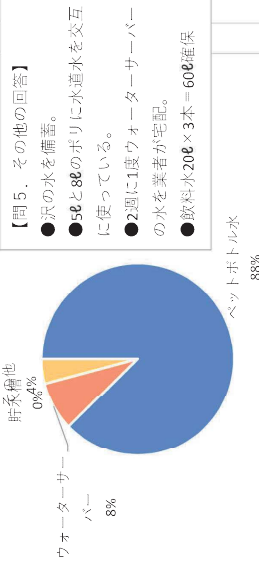
問7. 「推奨量を満たさない」理由として当てはまるものを全て選択してください。



問2. お住まいの地域について伺います。



問5. 「備蓄している」と答えた方はどのような方法で備蓄していますか？



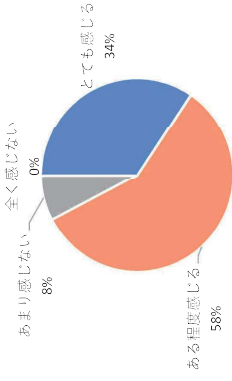
【問7. その他の回答】

- 賞味期限を見ながら、消費と購入のバランスを取る余裕がない。
- 現在の生活費の中で備蓄用までなかなか購入できない。余裕がない。
- 気持ちが大量に買うまでに至らない。
- 水のほかにお茶も備蓄している。
- 食料とセットで購入 (500ml×6本を2セット)

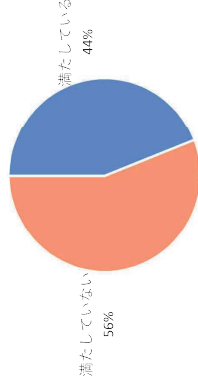
【問8. その他の回答】

- 実家から
- 毎月1回定期購入。(2)
- 郵便局物販。
- 町の水通水を利用。
- 東電のコスモウォーター。
- 通販で定期で届けてもらっている。(2)
- 生協

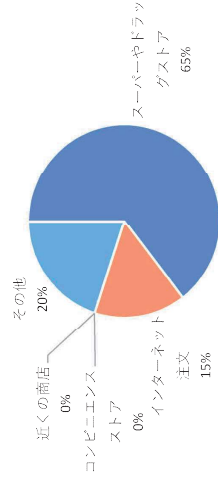
問3. 地震や台風などの大規模な自然災害が発生する確率が高まっていると感じますか？



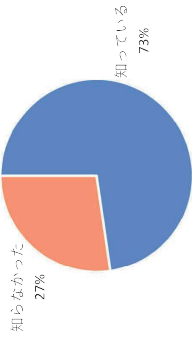
問6. 「備蓄している」と答えの方は推奨量を満たしていますか？



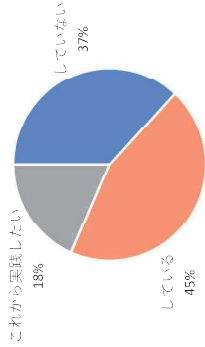
問8. 「満たしている」と答えた方は備蓄用の飲料水はどこで購入していますか？



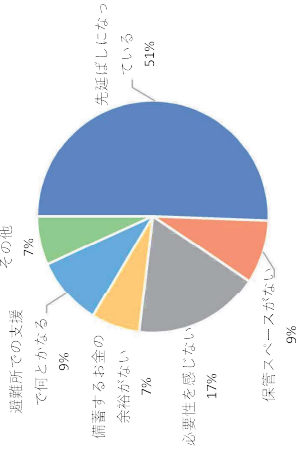
問9. ローリングストック方式による備蓄の方法をご存じですか？



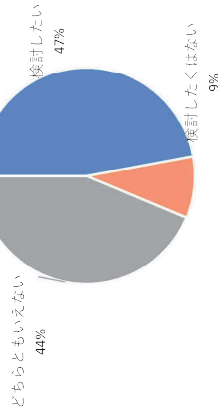
問10. ローリングストック方式を実践していますか？



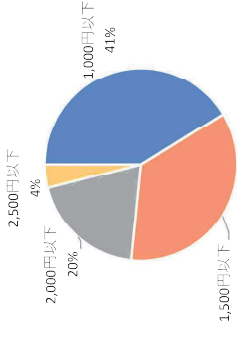
問11. 「備蓄していない」理由として当てはまるものを全て選択してください。



問12. この機会に購入又は備蓄を検討したと思いますか？



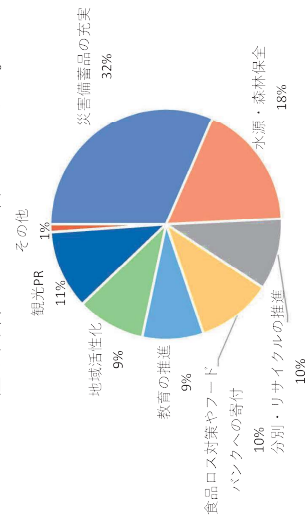
問13. 購入するとしたらいくらであればいいとお考えですか？



【問11. その他の回答】

- 地域から考えて、あまり心配していない。(2)
- 備蓄しても消費期間が切れるのが心配。(2)
- 湧き水や井戸水があるため(4)
- 非常用浄水器があるため(雨水、川水等利用可)。
- 備蓄するに当たり必要最低限のお金があれば他にもある。
- 備蓄というより、お茶や水は箱で購入しているため、需にあるので特に備蓄という感覚はない。
- 天気予報で台風が上陸する時は用意している。
- 何をどの程度備蓄すればよいか把握していない。どこかで甘楽は大丈夫と思ってしまう。(2)
- 自宅の井戸水に手動ポンプがついていて電気が止まっても汲み上げられるから。

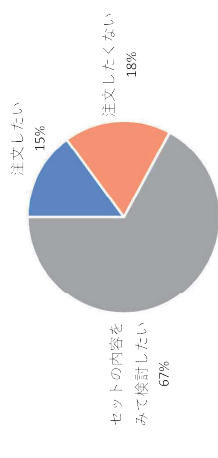
問14. 売上金を活用する、賛同できる取り組み内容を全てお答えください。



【問14. その他の回答】

- 工場跡地・産業振興・子育て支援・インフラ整備改修。
- 町営住宅金井地区への寄付や住宅の立て直し、補修。
- 老朽した水道管の交換費用の補助。
- 水のビジネスはやめた方がいい。
- 住民税を下げてほしい。
- 災害時の飲料水とは別に、水道水を普段利用する時の浄水器を町で安価に販売や購入補助などを考えてほしい。

問15. 食料とセットに定期的に配達される仕組みがあれば、注文したいですか？



## 問16. 自由意見

※関連意見のみ抜粋

- 是非このような取り組みを積極的に行ってほしい。
- タイムリーな調査だと思います。町民自身が自然災害に対する意識改革を持つように広報などでも啓蒙活動を期待します。
- 断水がないから思いつかないです。
- 2ℓのペットボトルであれば備蓄用として購入を検討します。500mlのペットボトルは2ℓのペットボトルと比較して1ℓ当たりの単価が高くなるため、備蓄用としては購入していません。
- 少子高齢化で20・30年先、甘楽町が存続しているか否か。民間でできることは民間に任せるべき。工場誘致や産業振興、子育て支援を進めるべき。税金が今後減少し、道路や橋の整備改修費用をどうするのか。まだ道路も狭く、曲がりくねった危険箇所多数あり。税金が上がれば、高崎市等へ転出が増えるだろう。災害防止については、災害対処教育を町民に徹底し、自分でできることは自分でしてもらい、できない部分は行政がすべき。水のことより、丈夫な安全な避難場所を各地に建設するのは行政の仕事だと思います。
- 量産販売可能な水量はありますか。品質等は問題ないですか。
- 以前町で20ℓ入りのポリタンクを支給してくれたと記憶している。町内在住の人には、いつでも無料で20ℓ使用可能にしてほしい。
- 個別の備蓄も重要と思う。町としての備蓄は？備蓄があるとすれば何がどこにどの程度あるのか？備蓄がある場合、その場所に炊事やトイレ設備はあるのか？そのような場所があれば、年に一度でも演習などしたらと思う。
- 新たな取り組み期待しています。容器ですが環境を第一に考え、PETボトルではなくプラスチック削減のためアルミボトル缶が長期保存にも適しているの Good だと思います。口径は従来の28mmでなく、子供や年寄り、女性でも開けやすい38mmキャップが良いです。ボトル缶のメリットは、ラベルがきれいにできるため町のPR表示するのに適しています。保存用としてでなく、熱中症対策用としても常に身近に置ける見て楽しいデザインにすれば、付加価値が上がり更に販売ルートが開けるのでは。長期保存の災害備蓄PET製品はすでに市販されていますので、新しいアイデアの製品を期待します（炭酸水も欲しいです）。ボトル缶のデメリットは、現在あまり流通していないので割高になりますが、デザイン勝負すれば道は開けるのでは。都民の6割の命を守っている流域面積日本一の利根川水系、その一端を担っている稲含山の「雫の一滴」から始まるロマンに多大に期待します。
- 備蓄は各個人でやればいだけで町で税金をかけて余計な事をしなくてもよい。備蓄用商品は、町でやらなくても商品が色々出ている。
- 自然災害が多発していることは認識しています。町でも起こり得ることも認識しています。備蓄をしたい気持ちはありましたが、なかなか機会がなく、備えていませんでした。このような機会があれば、家族で検討したいと思います。
- 食品は消費期限があるのでその管理をどの様にするか？
- 甘楽町の水道水はおいしくないというイメージがあります。同時に稲含山ふもとの水がどのような水かということも知りません。まずは周知されることが大事だと思います。町民や周辺地域にはサンプル配布や低価格で提供し、様々な意見を取り入れてほしいと思います。
- 甘楽町は災害に対して比較的安全という認識があるため、あえて必要を感じませんが、今後はそういうわけにはいかないですね。

- ペットボトルの水は安価で買えるので、価格的にかなり安くないと商品化しても買ってもらえないと思います。
- 商品化には積極的に賛成しかねる。何か義理で買わされるような気分になる。全国各地でやっているが、成功例だけではないだろう。知名度のある自然や昔からの名の通った名水ならまだ理解できるが。
- 問14の取組に関しては、どれも必要なことと思います。まずは実現可能なものを具体的に検討し、活用を図っていただけたらと思います。
- 現在備蓄している水は2ℓ×6本で300円です。
- 災害時用の水として、個人的に雨水タンク200ℓを設置してあります。断水時、トイレの水を流す用などに、普段は花などの水やりに使っています。
- 備蓄というよりも、自分の使う分量だけ補給しています。家族の多い家庭は足りないと思います。
- 商品化にあたり災害・備蓄用等に役立たせてほしい。
- 飲料水と一緒に食料セットを考える。
- 町を象徴する「甘楽の天然水」の商品化に期待しています。町づくりを推進する上でタイムリーなプランと言えます。大賛成です。
- スーパーやドラッグストアの「富士山の水」や「北アルプスの水」などより高値だったら購入しないかもしれません。味見をしてみたい気持ちもあります。
- ローリングストック方式を実践するのは大切だが大変です。特に高齢者家庭では難しいのでは。年1回、補助金を利用した割安の防災食品を注文配布したら注文も増すか。
- 備蓄には500mlだけでなく、2ℓがあるといいかなと思います。
- 他の市販品より魅力のある部分がないと購入しない。
- 現在は外出可能なため不必要ですが、将来的には定期的な配達の仕事があれば有難いことと思います。
- 災害時に何が 필요한のか、何を準備したらよいかかわからないので、そういったカタログや勉強できる資料などがあると嬉しいです。
- 水だけではなく、他にも色々必要とされる物があると思う。今このような時期にこのようなアンケートをするというのなぜという思いもあります。他にも備蓄にはもっと広く数もたくさん用意しなくてはならないと思います。
- 天然水の商品化はとても良いと思います。賞味期限も長く定期的（賞味期限が切れる頃）に町民価格で購入できるとありがたいです。水だけでなく、ゴミの取組ももう少し町民に寄り添ってほしいです。
- 2ℓペットボトルも同時に商品化したほうが良い。（生産・販売・コスト）
- 飲料水は色々な銘柄が流通しています。インターネットで購入している方も多くいらっしゃいます。食料にしても、パン・菓子等ローリングストックに適した物が販売されています。備蓄の必要性を町民にお知らせすることは大事なことです。商品化に関しては消極的です。
- 稲含山の麓からの採水であれば備蓄用以外に一般商品化できるのではないかと。近年のミネラルウォーターブームにより、コンビニなどで「天然水」のニーズが増えているので、商品化されれば利用したい。
- 大雪が降り断水になった時、住民センターでペットボトル2本が配布されると組長さんから連絡がありました。こんな中でどうやって取りに行くのかと私は思っていました。

●ミネラルウォーターを作るなら雄川の源流より芳の元の石灰質から湧き出る水を利用したほうがおいしいのでは。

●昔の井戸があるのでそれを利用できるように町で信用できる業者を指定して手押しポンプを設置した場合、工事費に補助金を出すような制度を考えてもらいたい。

●町の災害時の備蓄は？ローリングストックしているのか？

●昔、全国の地方自治体が湧き水・名水ビジネスをしたが、ほとんどが失敗した。ペットボトルに水を詰めるにしても各種規制があり谷川の清水を自己責任で持ち帰って飲むのとは違って大変難しいですよ。

●役場で売れば半年ぐらいで入れ替えて用意しておきたいと思う。老人が背負えるくらいの量で。

●いつどんな事があってもおかしくない地球が温暖化により夏ばかりでなく冬もこれからの世の中が住んでいくのが厳しくなり大変な時代が来ているのも一人ひとりの考えがゴミを当たり前のように道路に落としていく人がいるのも世の中を壊している人間の自業自得です。

●災害に合わないのであまり心配していない。

●秋畑の川は水が少ないのでペットボトルやミネラルウォーターを作ることが出来るのか？

●福島地区として災害備蓄量がわからない。

●水源が少ししかないのに出来るのか？こんな事をするなら、違う事を考えてほしい。

●採水時期や採水量にもよるが、水不足が心配です。

●そんな計画はやめてくれ。

●飲料水の備蓄をするということは良いのですが、この天然水を買うかどうかはまた別の話となります。

●障害者に配慮した計画がないのは何故ですか？

●カインズでは2050円で販売している。

●商品化の実現を願っています。

●水質についても気になり、価格も高いとホームセンターやスーパーなどで安い物も多いのでどうかなど…。賞味期限等も気になります。試みとしては良いと思います。

●ミネラルウォーターの商品化によって農業用水の不足が生じるようなことはないのか？

●とても良い発想だと思いますが、資金もかかる話なので、まずはペットボトルとかの容器を必要とする家庭分用意して配水車等で配達してみたいかでしょうか？1年くらいやってみて採算がとれるようならば本格的にペットボトルにつめるラインを建設するようにはしたらいいのではないですか？

●災害備蓄用は、長期間（最低10年）保存可能であれば有効。問15に対しては、飲料水を購入する必要がない。

●甘楽の自然の恵みを商品化できればとても良いことだと思う。

●長期保存のできる商品にしてもらいたい。

●防災セットがあれば良いと思います。

●先の台風の時には避難者がにこにこから周辺にたくさん集まり中へ入れなくて車の中で一晩過ごしたと聞いたのもっと近くの小学校とかに避難場所を作っただけなら良いと思います。中学生が「あそこに行くまでが危険だね」と言っていました。ご一考いただければ幸いです。

●良い取り組みだと思います。災害、とても心配です。

●備蓄用なら200mlボトルが良いのではないかと。単価も抑えられると思います。